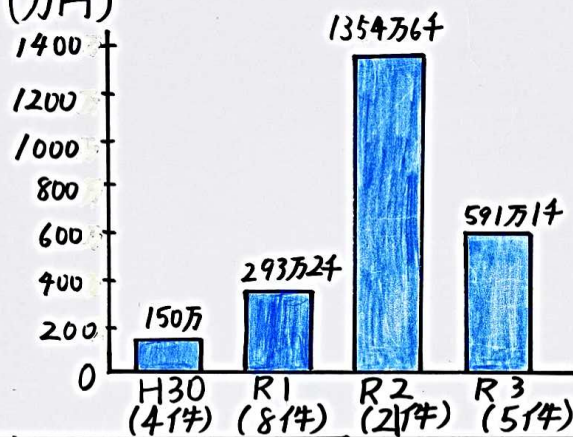


山梨県における介護ロボットの導入について

山梨県の介護ロボット導入費補助金客額 (万円)

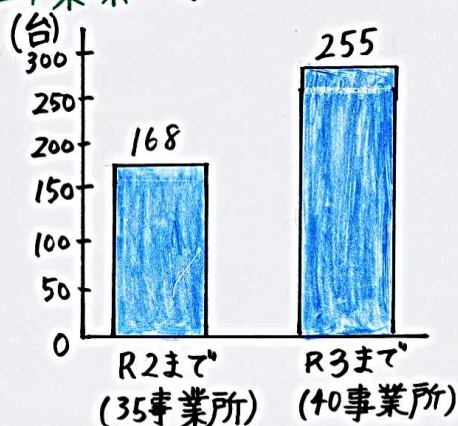


出典「山梨県HP山梨県介護ロボット導入費補助金」

山梨県では平成27年度から介護ロボット導入費補助金を実施している。令和2年には約1400万円の補助金が使われた。導入施設 サービス例

- ・介護老人施設、介護医療病院
 - ・介護療養型医療施設
 - ・訪問介護、訪問入浴介護
 - ・訪問通所リハビリテーション
 - ・入所通所介護サービス
- などに導入されている。

山梨県で導入されている介護ロボットの数 (台)



令和3年には約90台もの介護ロボットが導入された。現在の山梨県の医療において介護ロボットが必要とされていることがわかる。

HALについて調べてみた

介護ロボットの導入例

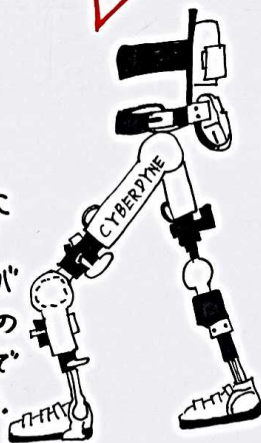
- ・移乗支援 (移乗介助・装着型)
 - HAL
 - ・マッスルスーツEdge
- ・入浴介助 (Hybrid Assistive Limb)
 - ・マッスルスーツEVERY (移乗介助・非装着型)
 - ・リショ-ネPlus
 - ・ロボハルバ-SASUKE
 - ・HugT1 (入浴支援)
 - ・Wells リフトキャリア
- ・見守り機器
 - ・アムス
 - ・見守りケアシステムM2
 - ・シルエット見守りセンサ
 - ・ネオスケア

出典「山梨県HP山梨県介護ロボット導入費補助金」

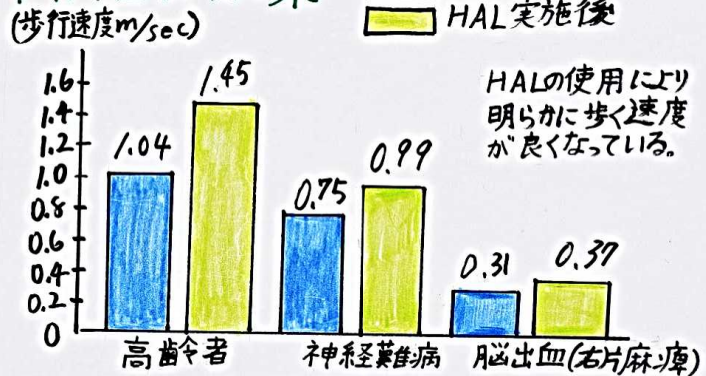
HAL(装着型サイボーグ)とは

身体機能を改善・補助・拡張・再生することができる世界初の装着型サイボーグ。

人が体を動かそうとするその運動意思に従って脳から神経を通じて筋肉に信号が伝わり、その際に微弱な生体電位信号が体表に漏れ出してくる。HALは装着者の「生体電位信号」を皮膚に貼ったセンサーで検出し、意思に従った動作を実現する。HALを装着して歩行運動をくり返すことで歩行機能の改善を目指す。



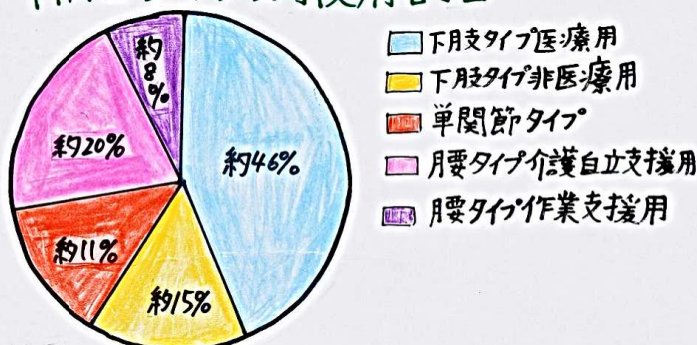
HALの効果



出典「サイバダイン2022年3月期決算説明資料 35ページ目」

「理学療法学会 Supplement Vol44 Suppl N02 第52回日本理学療法学会大会抄録集」
「医療法人仁会竜王リハビリテーション病院H26年度介護ロボット普及促進事業報告書」

HALタイプ別使用割合



出典「サイバダイン2022年3月期決算説明資料」

まとめ

山梨県をふくめ全国で高齢化と少子化が問題となっており、介護ロボットは、医療分野における労働力を確保するために、今後、日本で必要不可欠な存在になると考えられる。介護ロボットを活用することで、介護職員の精神的・肉体的な負担の軽減にもつながる。また、脳卒中の後遺症や老化などによる歩行困難は、自立をさまたげる要因となるためHALのような介護ロボットを利用したリハビリを導入したりするなど、今後の活やくが期待される。しかし、介護ロボットを導入する費用や使いやすさのための研修をするなど導入に向けて更に検討が必要になると思う。